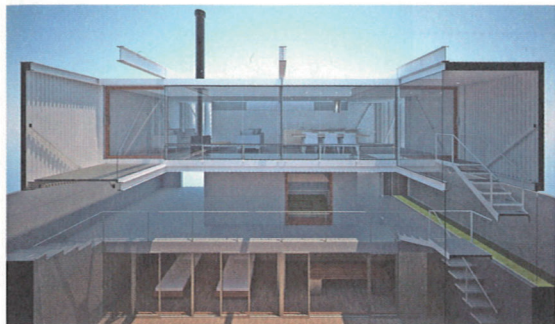


道路側は閉じて中庭で 光を採る

高いプライバシーを求める住まい手のため、道路側への開口部をなくし、光は奥の中庭側から採り入れる、地下1階地上2階の家。

地下に寝室や水廻りなどのプライベート空間を、2階にLDKのバリエーションを置き、3層分の中庭がこれをつなぐ。大きく囲い込まれた内部は、中庭の外部空間を挟みながら上下につながり、実際の広さ以上のダイナミックな広がりを感じることが出来る。



LDK側断面バース (CG)。日常の生活空間は、寝室と書斎のある地下、LDKの2階の2層。茶室のある1階が生活空間の間に挟み込まれている

開く壁

2階開口部は、道路側からは見えないが、必要なときに可動式の壁を開いて通風を確保する。この「動く壁」は建物の四隅にあり、対角線上に風が流れる



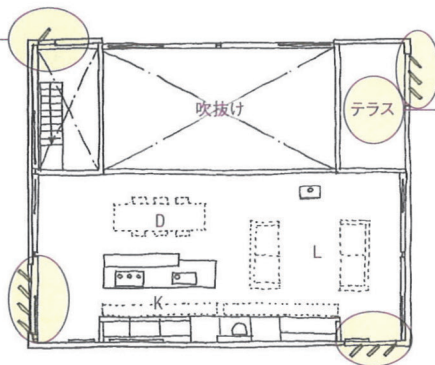
2階LDK (CG)

ガレージからの動線

インナーガレージからは、吹抜けを見ながら玄関に抜ける外廊下と和室脇の土間を通るルートの2通りを設定。状況や気分にに応じて使い分けが可能

茶室のしつらえ

1階の和室は、茶室としてしつらえた。プライベートスペースの地下とLDKの2階に挟まれる空間で、土間部分が茶道口(亭主の出入り口)となり、中庭は露地にも見立てられる



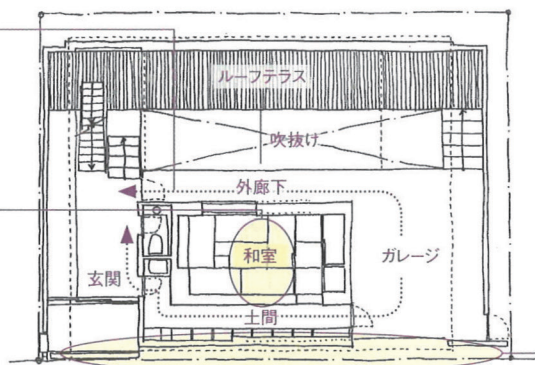
2F
1:250

空中に浮くテラス

2階でも外部空間を感じられるテラス。ご主人の喫煙所でもあり、冬は南からの日で暖かな縁側のような場所。ここからは、中庭越しに地下の書斎まで見通すことができ、囲われた内部の広さを強く感じることができる

道路面の開口部

道路側の開口部は、玄関とガレージ入口の2カ所のみとし、防犯に配慮したプライバシーの高い室内空間を実現している



1F
1:250



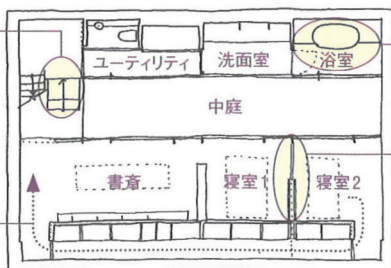
道路側外観 (CG)

3段の距離感

水廻りは、寝室側と3段の段差があり、寝室側からは「遠さ」、地上階からは「近さ」を感じさせる

クロゼットは裏動線

クロゼットは、寝室2からの裏動線も兼ねている。寝室1で休む夫に気兼ねすることなく、上階との行き来ができるようになっている



BF
1:250

中庭・寝室と一体の風呂

ガラス張りの水廻りは中庭側に開けている。地下で外から見えないこともあり、浴槽に浸かれば、中庭、寝室などと一体の大きく開放的な空間を楽しめる

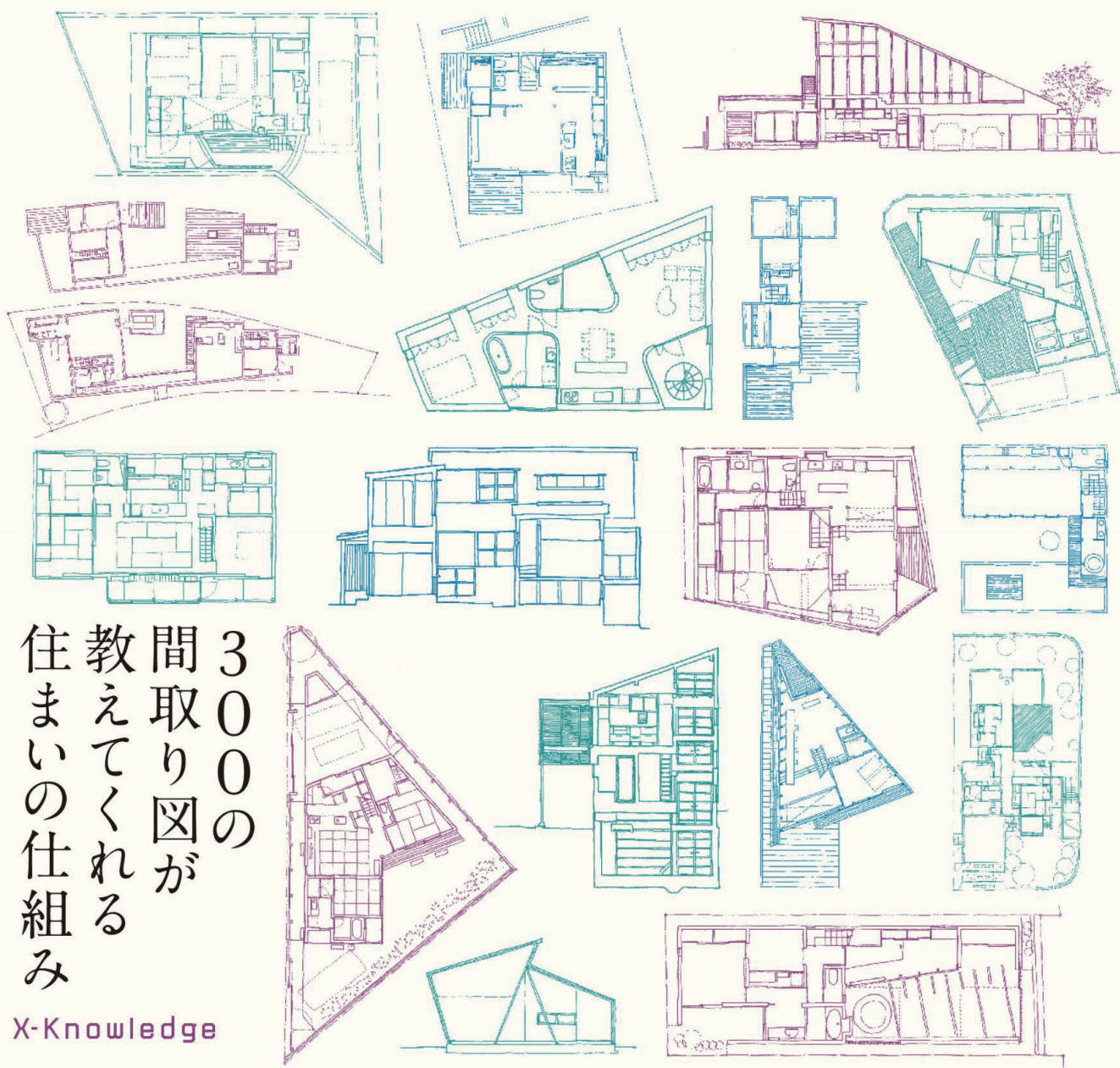
近くても別室

仕切ることが可能な寝室。開放して、つながる空間にもできるが、夫婦でも生活時間のズレがある場合などは仕切って使う

敷地面積/172.19㎡ 延床面積/134.07㎡
設計/矢板建築設計研究所
名称/Patio

最高にステキな [間取り]の図鑑

編著=ザ・ハウス



300の
間取り図が
教えてくれる
住まいの仕組み

X-Knowledge